

## 御前崎小150年の歴史をたどる

今年度創立150周年を迎える御前崎小学校。11月2日には、全校で150周年をお祝いしようと準備をしています。

150年前の御前崎小は、どのようにしてできたのでしょうか？子供の数は何人だったのか？御前崎小学校に残されている資料を探し、御前崎小学校の150年の歴史をたどりたいと思いを立ちました。資料にはこのように書かれていました。

1	明治 6年 11月 2日	地頭方7か村連合学校として、白羽宗心寺に創設
2	明治 7年 5月	地頭方、白羽の2校に分離、地頭方学校分校として海福寺に学校を置く
3	明治 8年 6月 13日	地頭方学校より独立し、本村1か村を学区とし、回復時に御前崎学校を設置
4~5	省略	
6	明治19年 9月 9日	御前崎村坂の上（現在地）に校舎を新設・移転
7	明治22年 12月 5日	御前崎尋常小学校と改称

当時を残す写真は残念ながら見つかりませんが、現在の場所に学校ができてからの校舎の変貌は小学校社会科の副読本に掲載されていました。

### ◆御前崎小学校のうつりかわり



1909(明治42)年  
御前崎尋常高等小学校



1940(昭和15)年

明治42年の児童数は、476名、授業日数は、驚くことに259日でした。本年度の本校の授業日数と比べても55日も多く学校に通っていたということです。

児童数のピークは昭和25年で、800人近い児童が通っていました。当時の生活は、今とどのように違っていたでしょうか。



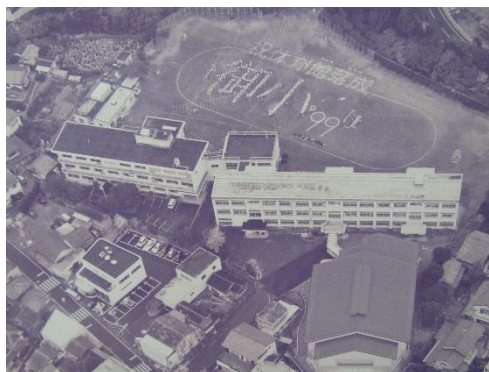
1965(昭和40年)の御前崎小学校

昭和41年に 鉄筋コンクリート3階建の授業棟と2階建の管理棟を新築。

その後、管理棟は昭和56年に今の建物に新築されました。



1966(昭和41)年



1999(平成11)年

現在の体育館は、屋内運動場として、平成11年7月31日に完成しました。

平成16年4月から、合併に伴い、御前崎市立御前崎小学校と学校の名前を改称。

そして同じ年度の平成17年3月19日に、今の授業棟が完成しました。この年の卒業生は、新校舎での授業は残念ながらできなかったそうですが、卒業式の日、新校舎の中を歩いて体育館で卒業式を行い、新校舎の中を歩いて見送られたということです。

この当時の卒業生は、現在29～30歳の方ではないでしょうか。保護者の方にも、この当時の様子を覚えている方も多数いらっしゃるかもしれません。

11月2日には、歴代の御前崎小学校卒業生といっしょに校歌を歌おうと考えています。是非お越しください。次回は「校章」と「校歌」について紹介します。(校長)



2005(平成17)年



現在の授業棟校舎

#### <事務室からのお知らせ>

令和6年10月から、金融機関の各種手数料が有料化するといわれています。これに伴い、学校としては来年度において、口座数・指定金融機関数・引き落とし回数削減などを考えています。

現在、ネットバンキング等への移行も視野に、御前崎市と協議・検討しているところです。詳細は、決定次第お知らせいたします。